

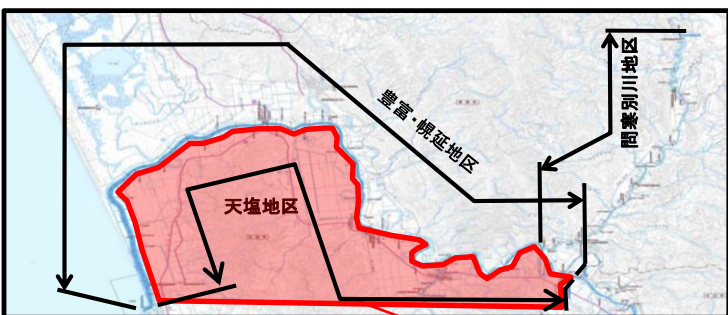
# 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく 天塩川下流の減災に関する取組方針(案)

天塩川下流・留萌川水防連絡協議会 天塩川下流減災対策部会

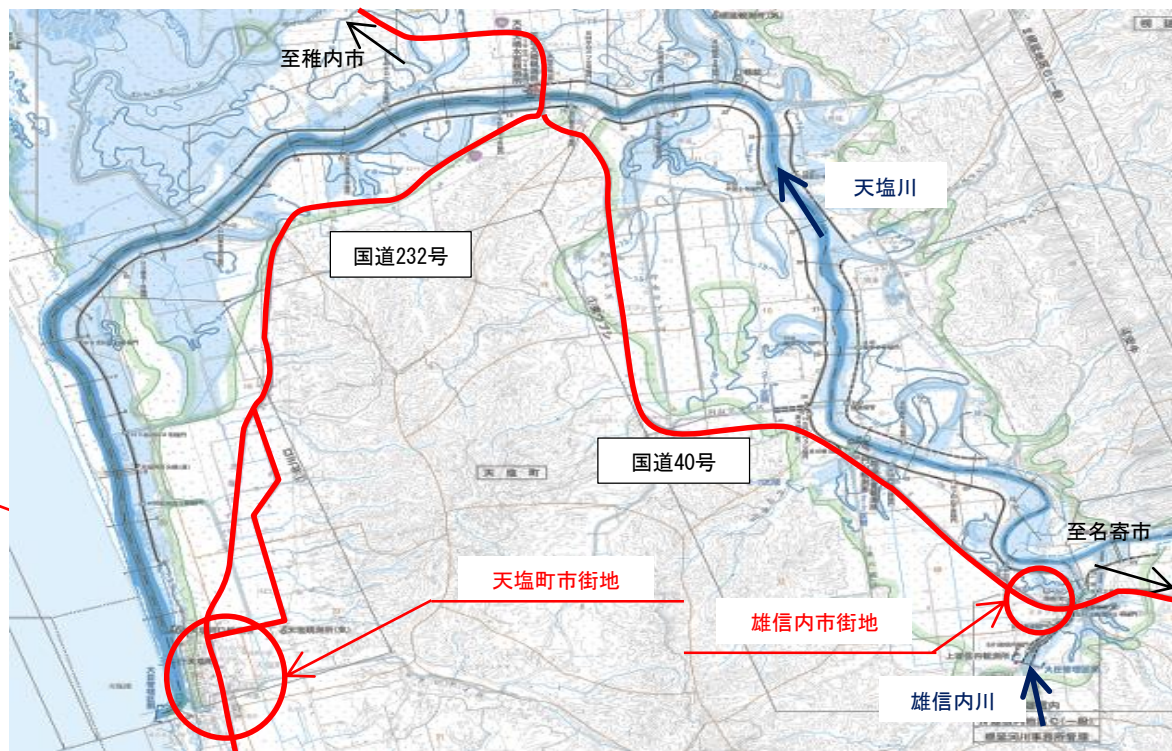
# 1. 天塩川下流の概要<天塩地区(天塩川左岸側)>

- ① 日本海側を通り札幌市への交通ルートとなる国道232号が天塩川と並走している。
- ② 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号が並走している。
- ③ 天塩川の河口付近には天塩町市街地が形成されている。
- ④ 天塩川と雄信内川の合流点には雄信内市街地が形成されている。

## <天塩地区>



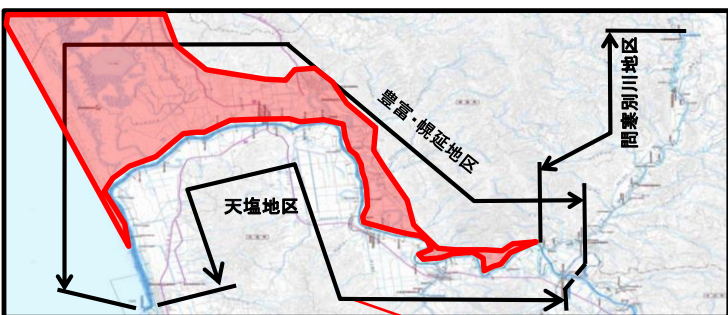
昭和56年洪水時の  
浸水範囲



# 1. 天塩川下流の概要<豊富・幌延地区(天塩川右岸側)>

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号、JR宗谷本線がサロベツ川と並走している。
- ② サロベツ原野を流下することから浸水が広範囲に及ぶ。
- ③ 天塩川右岸には幌延町市街地が形成されている。
- ④ サロベツ川左岸には豊富町市街地が形成されている。

## <豊富・幌延地区>



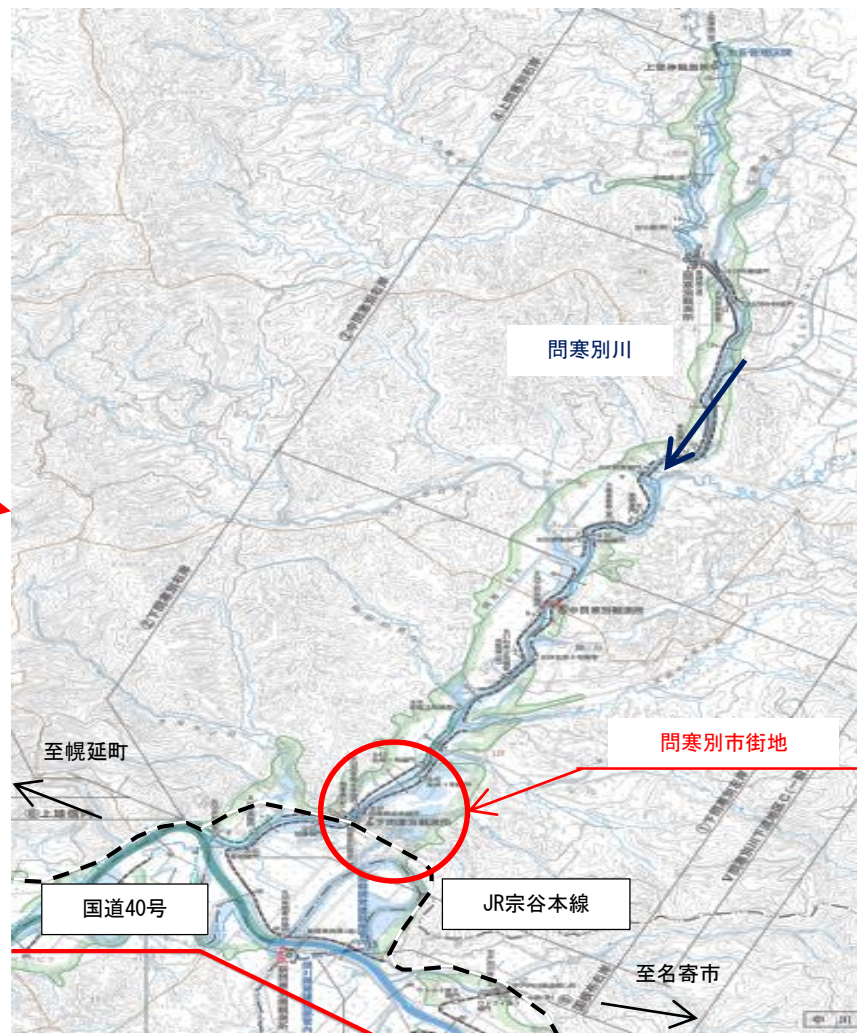
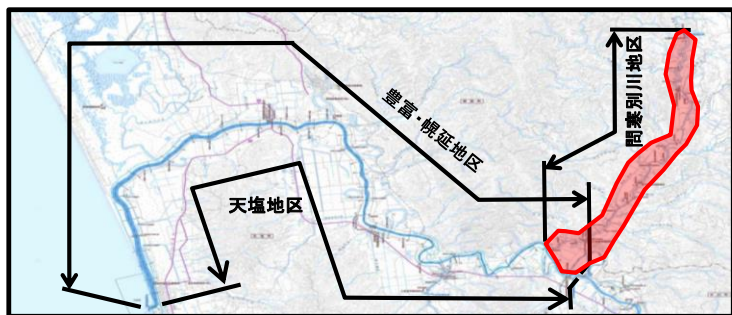
■ 昭和56年洪水時の浸水範囲



# 1. 天塩川下流の概要 <問寒別川地区>

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなるJR宗谷本線が横断している。
- ② 問寒別川下流域には問寒別市街地が形成されている。

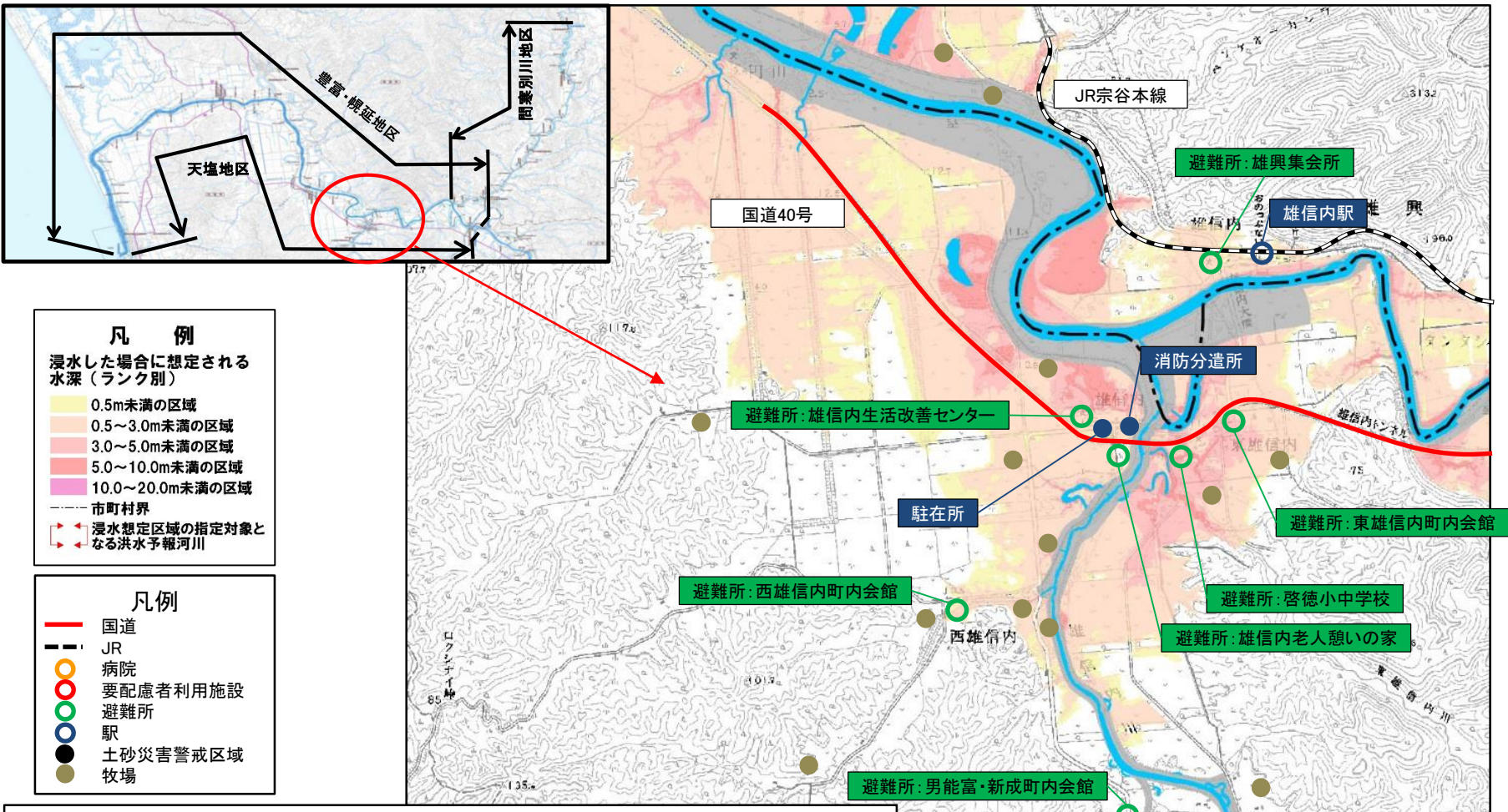
## <問寒別川地区>



昭和56年洪水時の  
浸水範囲

## 2. 天塩川下流の課題<天塩地区(天塩川左岸側)>

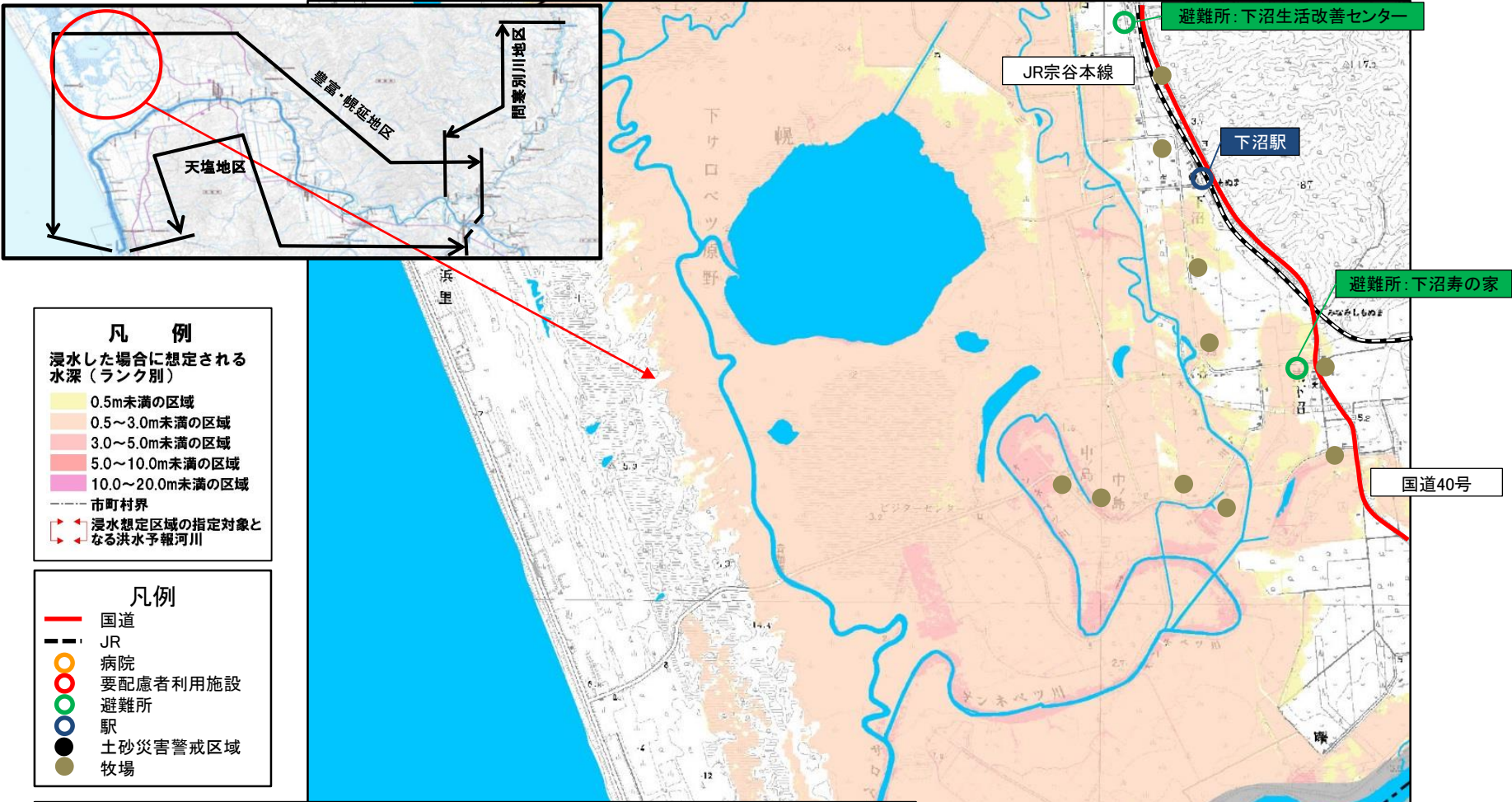
低平地では、住宅のみならず、複数の避難所等への浸水が想定され、かつ、国道40号をはじめとする避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注)掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

## 2. 天塩川下流の主な課題<豊富・幌延地区(天塩川右岸側)>

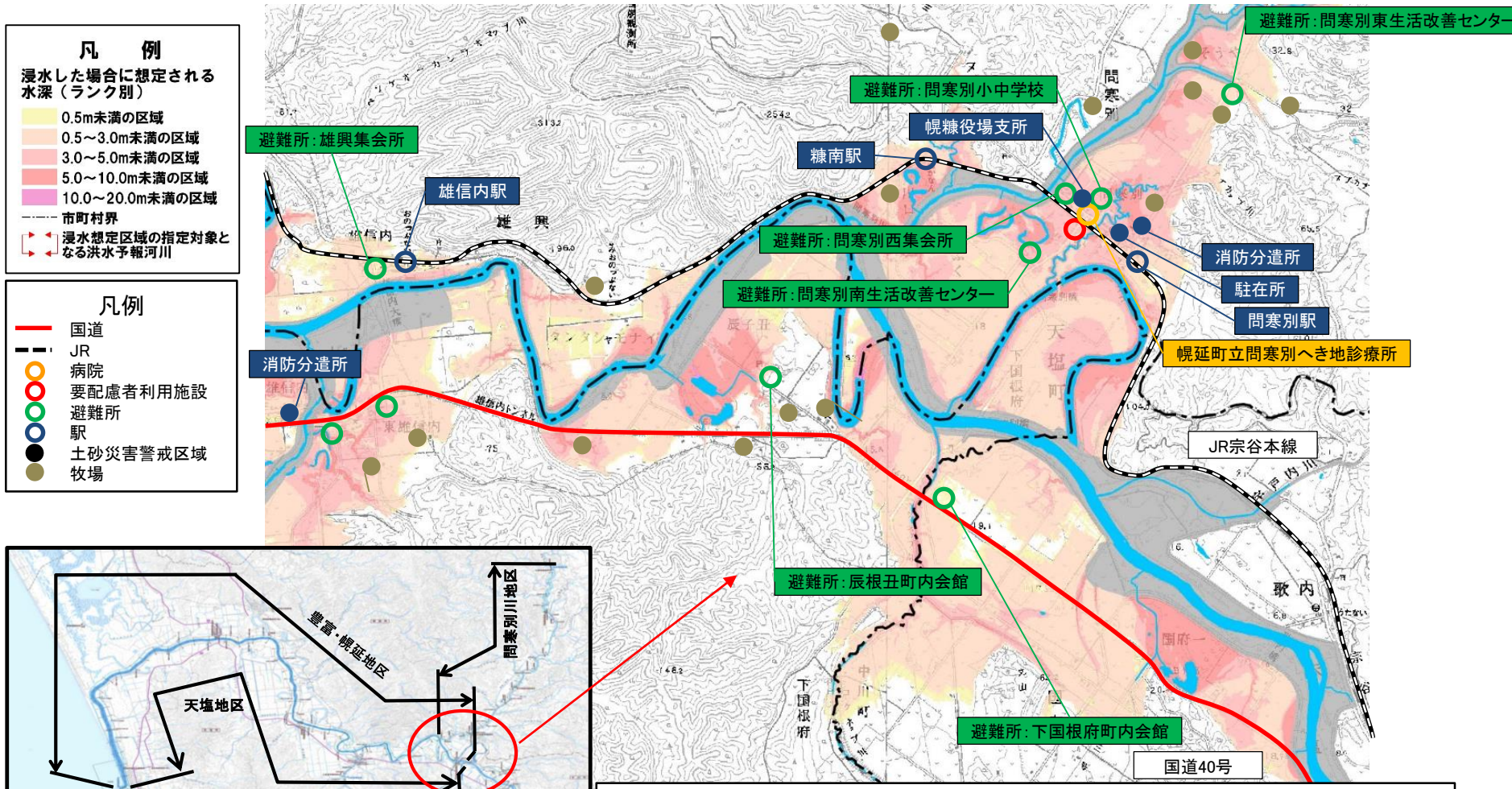
サロベツ原野が位置する低平地では、複数の避難所や町道等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定及び町・道路管理者との連携による今後整備予定の水防活動の拠点等の検討が重要となる。



注)掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

## 2. 天塩川下流の主な課題<問寒別川地区>

問寒別市街地が位置する低平地では、住宅のみならず、複数の避難所や町道、要配慮者利用施設及び病院等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注)掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

# 3. 現状の取組状況

## ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

### 現状

- ・ 避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を気象台と共同で実施している。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開建、北海道から天塩町長、豊富町長、幌延町長に対して情報伝達をしている。

#### ■天塩川下流洪水予報区間



### 課題

A

- ・ 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不十分であることが懸念される。



# 3. 現状の取組状況

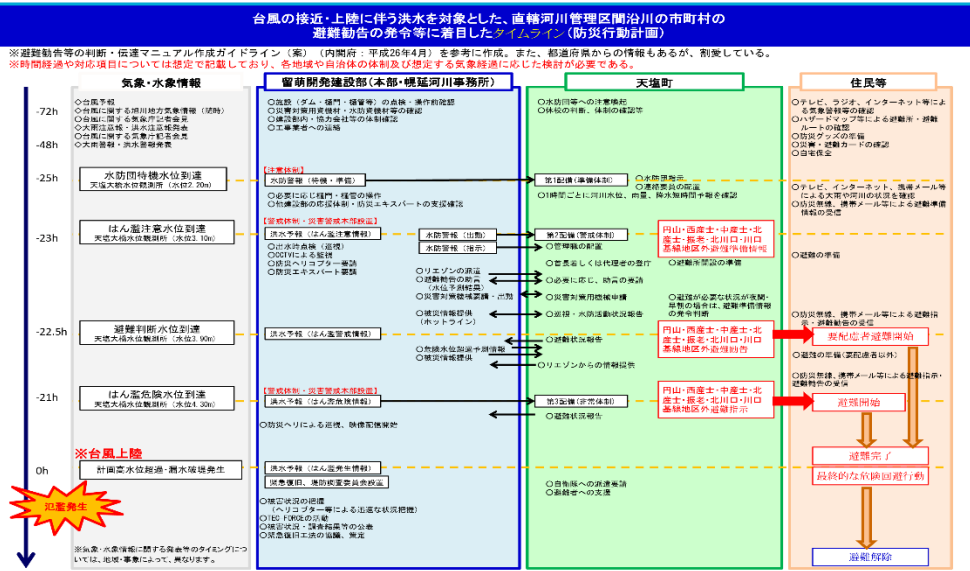
## ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『**避難勧告等の発令基準**』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

**現状**

- 避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成している。
- 避難勧告等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

### 天塩町の避難勧告等の発令に着目したタイムライン



## 課題

B

避難勧告等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法を予め整理することが求められる。

C

現行の地域防災計画には、水位に対応した避難勧告等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、広域に分散する住民等への情報伝達の手法等が不十分であることが懸念される。

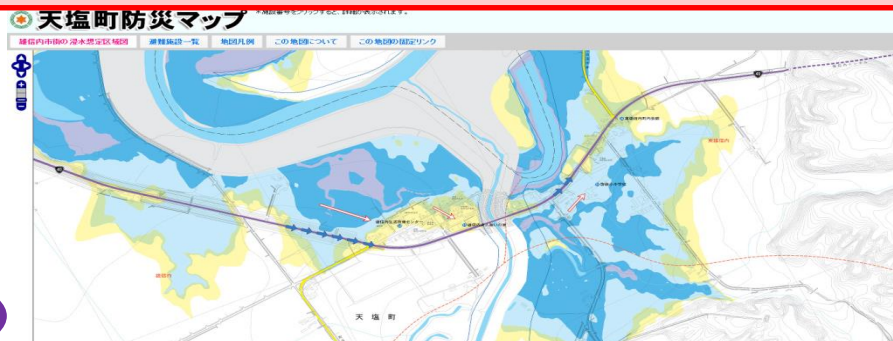
# 3. 現状の取組状況

## ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 防災マップ及びHPにおいて避難場所・一時避難所を周知している。
- ・ 平成28年7月公表の浸水想定区域図に基づきハザードマップの見直しが必要である。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



幌延町農業協同組合問寒別支所

課題

D

- ・ 浸水想定区域図等に記載された浸水深等の情報がリスクとして住民に理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

E

- ・ 避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

- ・ 酪農施設等による広域分散型の土地利用が形成されている箇所では、浸水深の深い区域において避難が困難になることが懸念される。

G

- ・ 長時間・広範囲の国道・道道の浸水により、住民の避難や災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

### 3. 現状の取組状況

#### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

#### 現状

- ・ 河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車、農協のFAX等により情報伝達をしている。

- ・ 避難誘導は、地域防災計画において町職員、消防団等が実施するよう設定されている。

#### 課題

H

- ・ 高气密性住宅が多いことに加え、風雨等の騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

I

- ・ 文字・水位情報ではわかりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。住民が広範囲に分散することや高齢化等から、伝えたい情報が一部の住民に確実に伝わっていないことが懸念される。（天塩町、豊富町、幌延町の高齢化率は3割）

J

- ・ 地域防災計画には、町職員、消防団等が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

# 3. 現状の取組状況

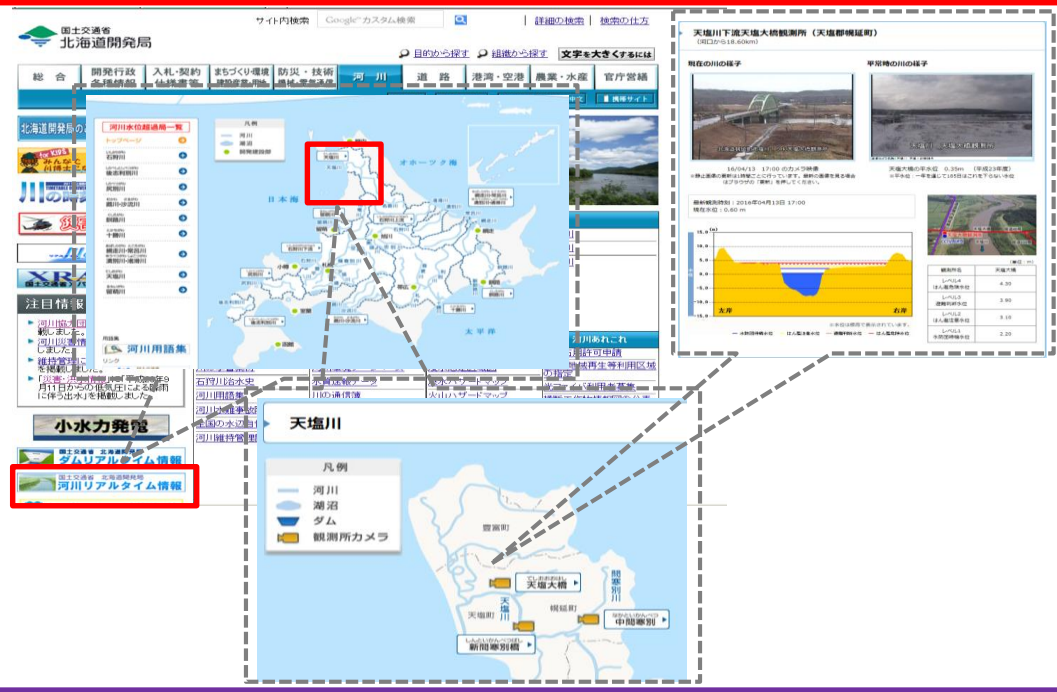
## ②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

**現状**

- 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- 基準観測所の水位に応じて水防警報を公表している。

国土交通省北海道開発局  
河川リアルタイム情報



**課題**

K

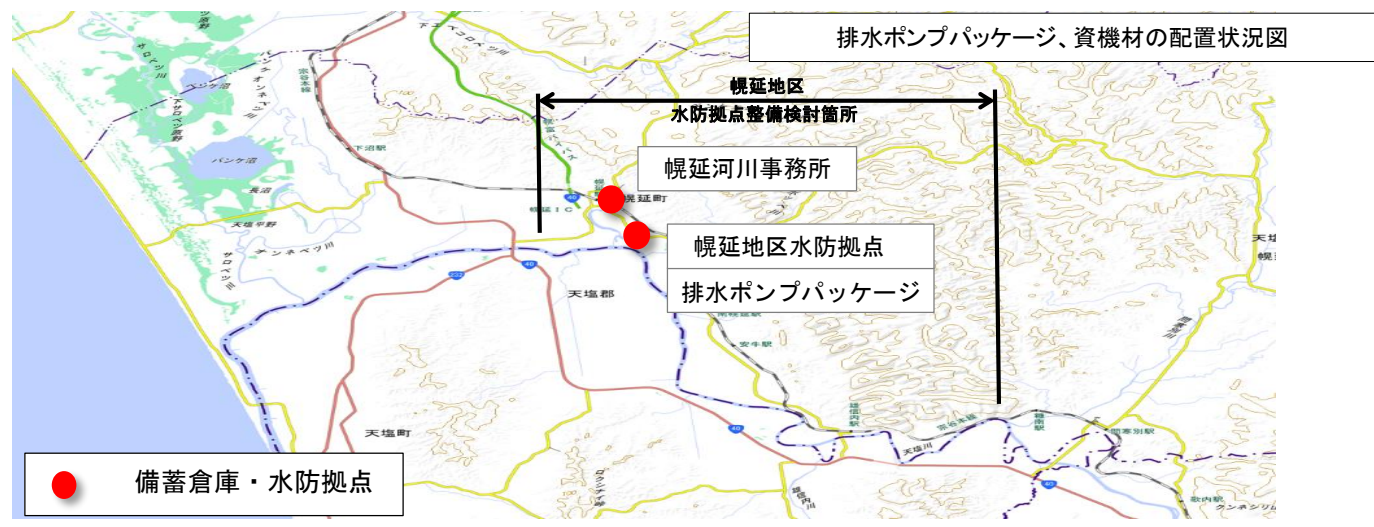
- 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不十分である。

# 3. 現状の取組状況

②水防に関する事項  
『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

**現状**

- ・ 平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所  
の合同巡視を実施し、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を  
実施している。
- ・ 水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。



**課題**

L

- ・ 住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とはいえない。

M

- ・ 各関係機関の水防資機材保有状況を共有し、充実を図る必要がある。

# 3. 現状の取組状況

## ②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

### 現状

- ・ 消防事務組合、建設協会等の関係機関と連携を図っている。
- ・ 関係機関と連携した水防活動の実施訓練を行っている。



### 課題

N

- ・ 水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないこと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

# 3. 現状の取組状況

## ③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項 『排水施設、排水資機材の操作、運用』

**現状**

- ・ 関係機関が連携した排水訓練を実施している。
- ・ 保有する水防資機材は非常時においては水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



**課題**

- 大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

**P**

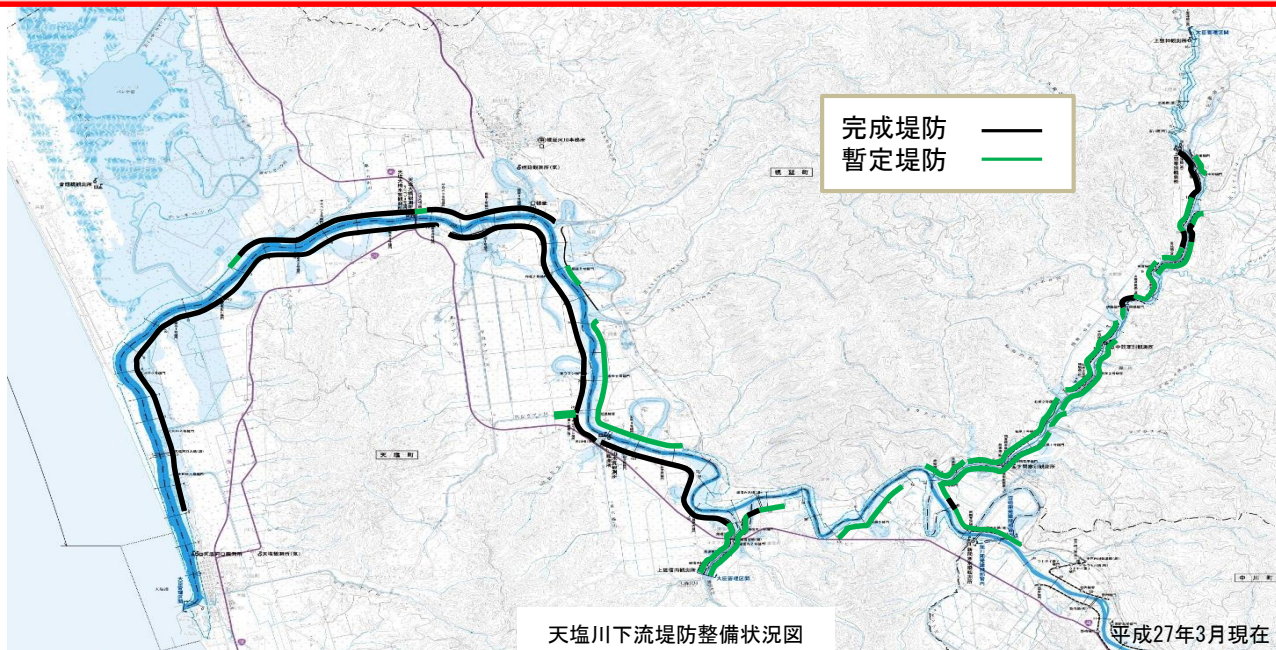
- ・ 広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、情報の共有が不十分である。

# 3. 現状の取組状況

## ④河川管理施設の整備に関する事項

### 『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

- 現状**
- ・ 計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、民家等が集中する地区から優先的に堤防整備を実施している。
  - ・ 危機管理型ハード対策として、堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強を実施している



**課題**

Q

- ・ 無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。
- ・ 洪水の越水や河岸の浸食により、堤防が決壊するおそれがある。



## 4. 減災のための目標

### ■ 5年間で達成すべき目標

天塩川下流の大規模水害に対し

「**確実な避難を目指す**」、「**長時間続く洪水から地域を守る**」

### ■ 上記目標達成に向けた2つの取組

天塩川下流において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた**確実な避難に関する取組**
2. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るため**水防活動・復旧に関する取組**

# 5. 概ね5年で実施する取組

## 1) ハード対策の主な取組

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ■危機管理型ハード対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 2) ソフト対策の主な取組

### ① 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

#### ■情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映
- ・町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善

#### ■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
- ・防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

### ② 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

#### ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
- ・迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえた、水防資機材の一時的な保管場所を検討の上、充実に図る。
- ・的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

#### ■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

#### ■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

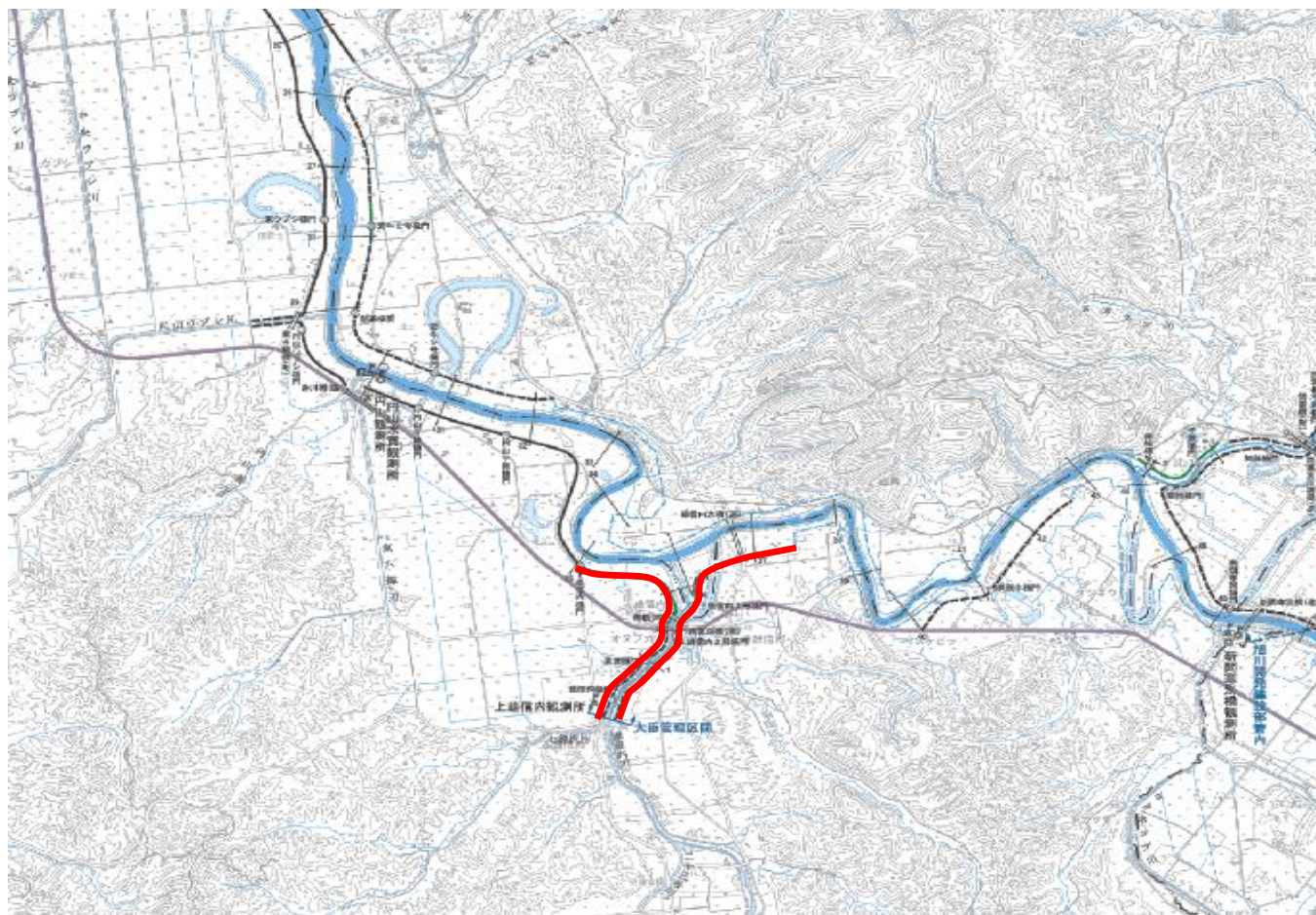
- ・想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: 

○ 堤防整備等(雄信内地区等)【～平成32年度:留萌開発建設部、北海道(稚内建設管理部管理区間は含まない)】

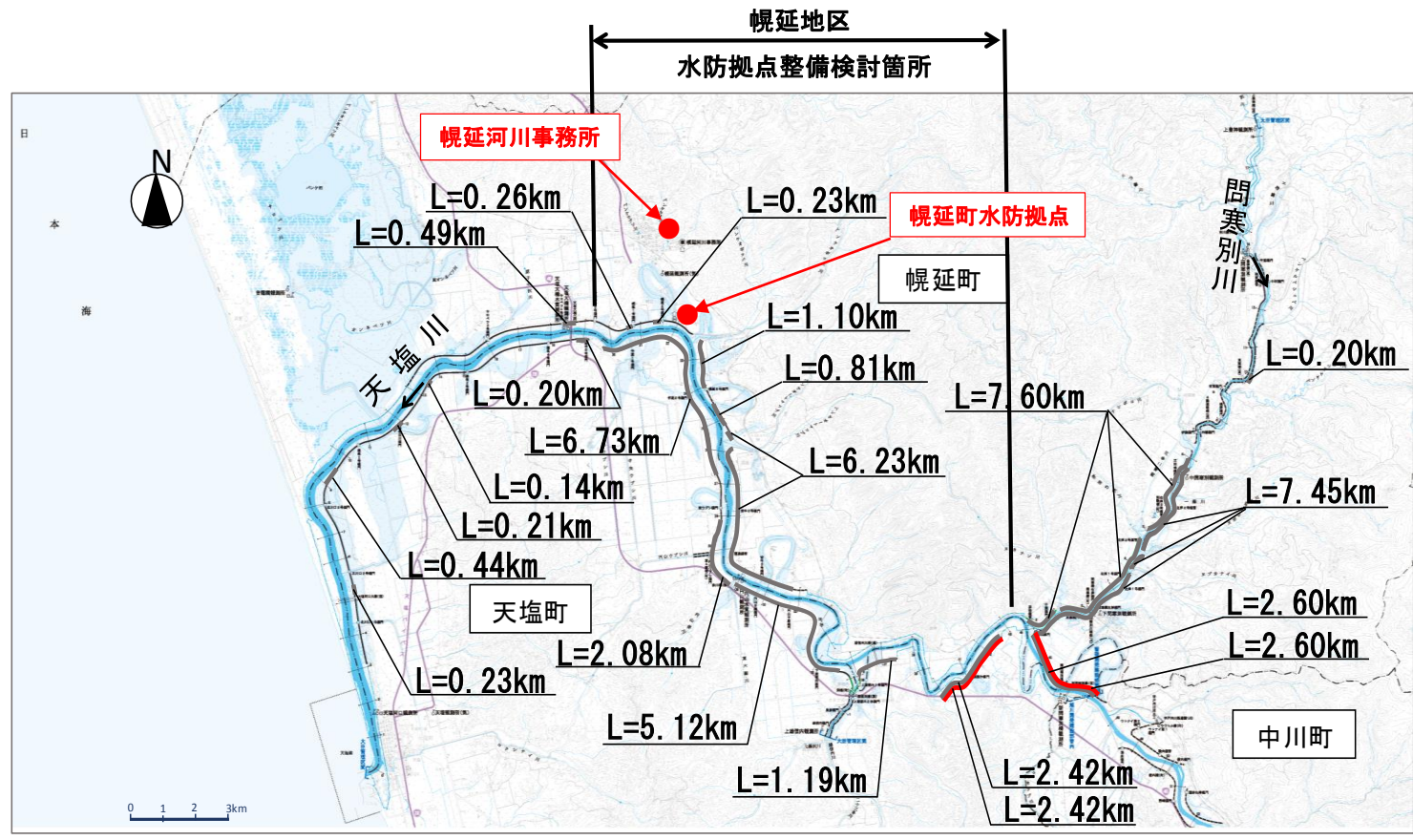


雄信内地区堤防整備

# 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

## ■ 危機管理型ハード対策 課題対応: Q

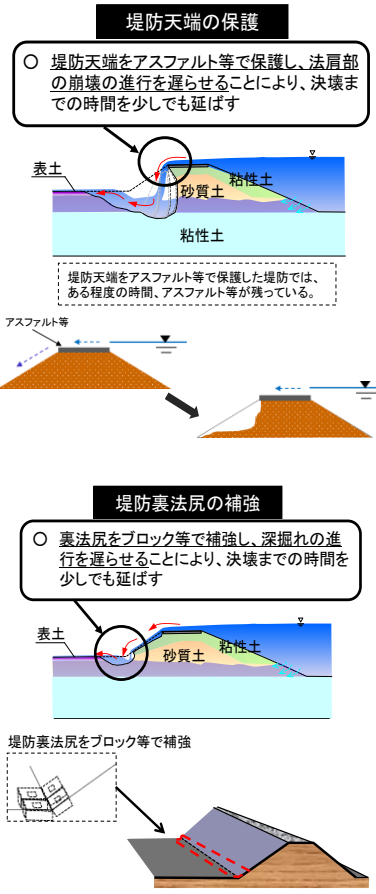
氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、平成32年度を目途に決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を実施。  
 【～平成32年度: 留萌開発建設部】



**凡例**

- 天端の保護
- 裏法尻の補強

危機管理型ハード対策整備予定箇所図



# 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

## ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: **H** **I**

- 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築【平成28年度から実施:留萌開発建設部】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築【平成29年度から実施:留萌開発建設部】

PC・スマホでライブ映像が確認できる

国土交通省 北海道開発局

河川リアルタイム情報

天塩川

凡例

- 河川
- 湖沼
- ダム
- 観測所カメラ

国土交通省北海道開発局河川リアルタイム情報

デジタル放送のデータ放送で河川水位を確認できる

NHK札幌放送局 提供

画面はサンプルです

河川水位

石狩川 1/42

6月3日 9:00 更新

篠路観測所

増減 ↓ 正常水位

石狩川	豊平川	厚別川	石狩川	夕張川	千歳川	夕張川
篠路	滝岩	雁来	石狩次橋	清規橋	嵐の沢	西越
門山						

防災・生活情報 ヘルプ NHKトップ

NHKデータ放送画面

国土交通省 川の防災情報

全国の雨量分布

洪水予報や水防警報などの情報を入手できる

国土交通省 川の防災情報

全国の雨量分布

洪水予報や水防警報などの情報を入手できる

国土交通省 川の防災情報

全国の雨量分布

洪水予報や水防警報などの情報を入手できる

国土交通省 川の防災情報

全国の雨量分布

洪水予報や水防警報などの情報を入手できる

国土交通省 川の防災情報

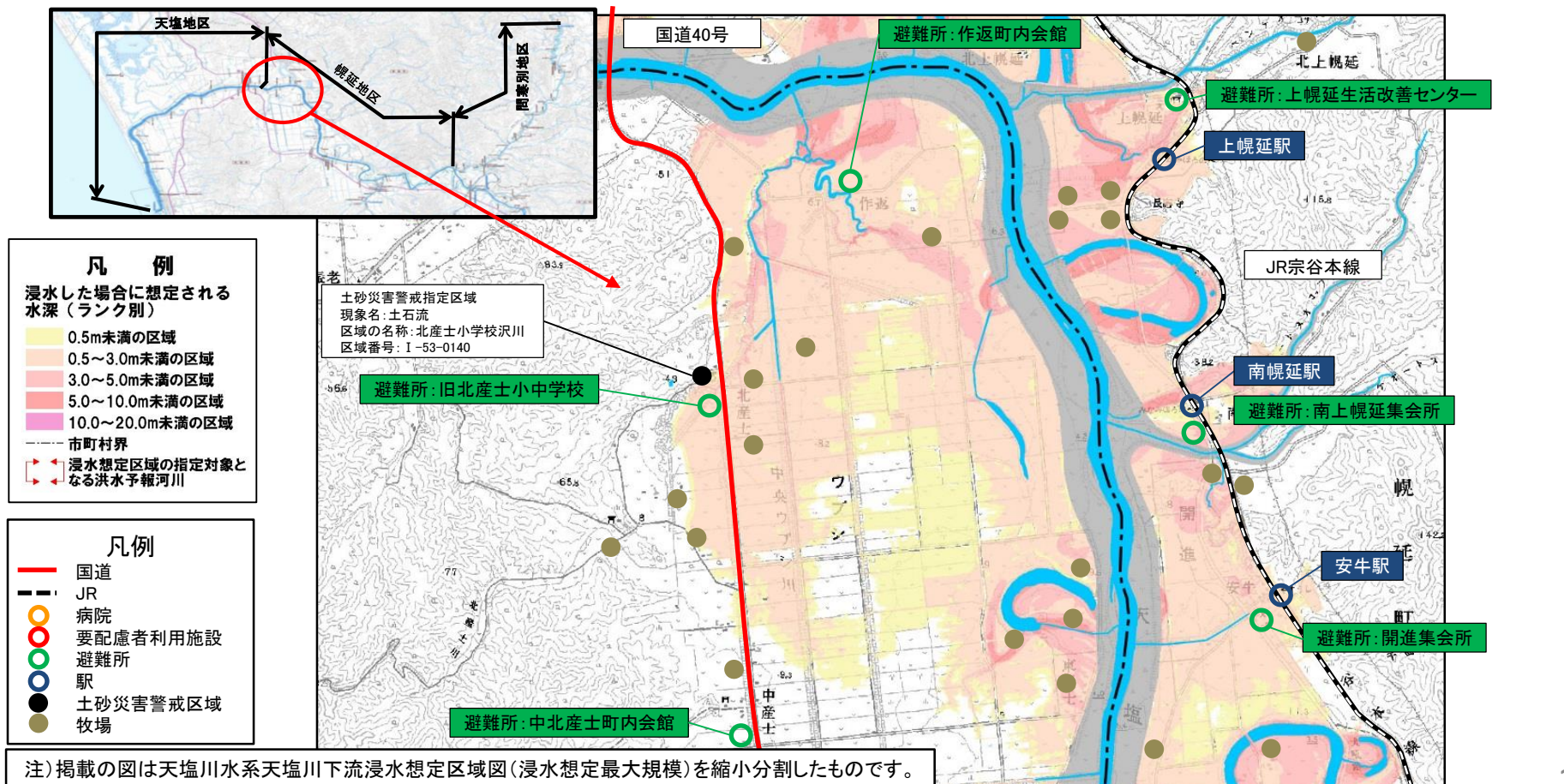
# 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

## ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **E** **F** **G**

○ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画及びハザードマップへ反映【～平成30年度:天塩町、豊富町、幌延町】

○ 町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討【平成28年度から実施:留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】



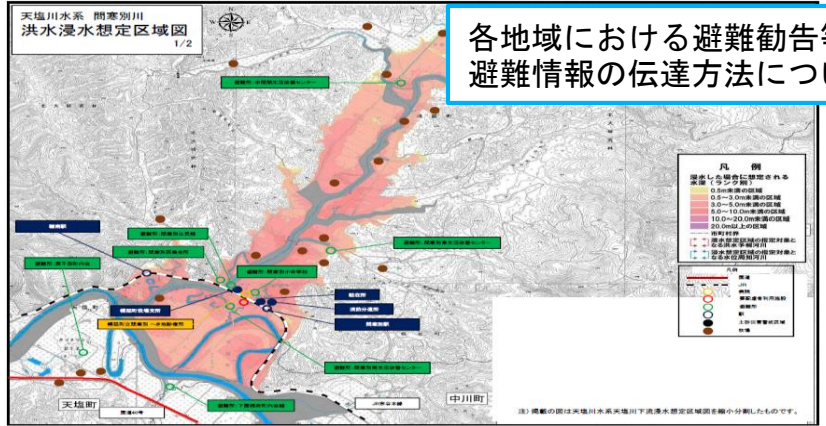
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **B** **C** **J**

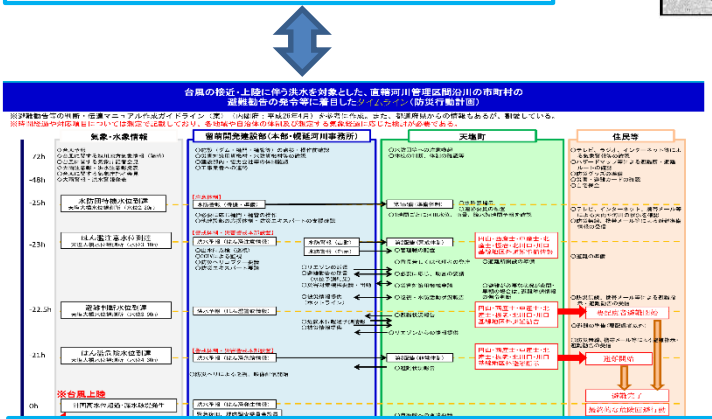
- タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上  
【平成29年度から実施: 留萌開発建設部、地方气象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】
- 各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し 【平成28年度から順次実施: 天塩町、豊富町、幌延町】



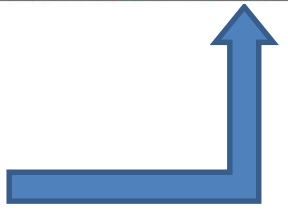
関係機関と連携した訓練の実施



各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法について整理



避難勧告等の発令に着目したタイムラインの見直しを通じ、より実践的な内容に精度向上



住民の円滑かつ迅速な避難行動を促せるよう、例えば水位に対応した避難勧告等の発令基準・発令対象地区や、災害時要配慮者利用施設等への情報伝達の手法等について、役場職員向けマニュアルの作成、地域防災計画への反映を図る

平成24年3月修正  
幌延町地域防災計画

幌延町防災会議

# 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

## ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

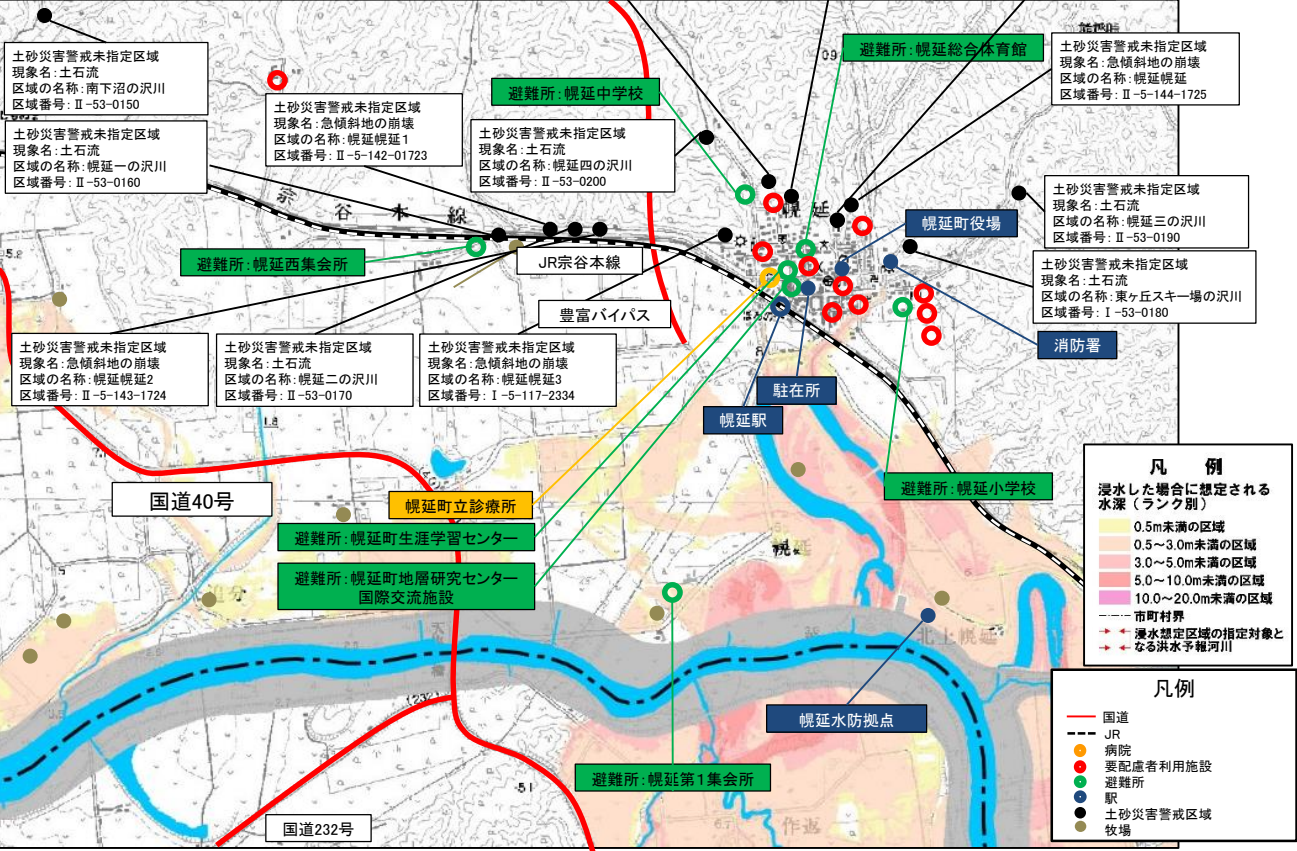
課題対応: **C E F G**

○農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進  
 【平成28年度から順次実施: 留萌開発建設部、天塩町、豊富町、幌延町】

### 災害時要配慮者利用施設に対しての水害リスク情報の提供

- 土砂災害警戒未指定区域  
現象名: 急傾斜地の崩壊  
区域の名称: 幌延幌延6  
区域番号: I-5-123-3115
- 土砂災害警戒未指定区域  
現象名: 急傾斜地の崩壊  
区域の名称: 幌延幌延5  
区域番号: I-5-122-3114
- 土砂災害警戒未指定区域  
現象名: 急傾斜地の崩壊  
区域の名称: 幌延幌延4  
区域番号: I-5-118-2335

### 災害時要配慮者利用施設における避難確保計画の作成



医療施設等(病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等)に係る避難確保計画作成の手引き(案)  
 (洪水・内水・高潮編)  
 平成27年7月  
 国土交通省水管理・国土保全局  
 河川環境課水防企画室

この手引きは、水防法(昭和24年法律第193号)に基づき作成する。洪水・内水・高潮時(以下「洪水等」という)における避難確保計画について、記載例と留意事項を示したものである。  
 市町村地域防災計画に定める医療施設等(病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等)ではこれを参考に、施設の種別や立地条件等の実態に即した計画を作成することが望ましい。  
 なお、本手引きは、洪水・内水・高潮を対象としているが、津波防災地域づくりに関する法律に基づき作成する。津波を対象とした避難確保計画とも整合を図ることが望ましい。  
 また、本手引きは、新たに作成する避難確保計画を念頭に記載例等を示したものであるが、消防計画や地産等の災害に対するための具体的な計画を定めている場合には、既存の計画に「洪水等時の避難確保計画」の項目を追加することも良い。  
 避難確保計画の作成にあたっては、市町村が作成する洪水ハザードマップ、内水ハザードマップ、高形ハザードマップ(以下「洪水ハザードマップ」という。)で情報の伝達方法や避難場所、避難経路等を確認するとともに、不明な点については避難確保計画の報告先である市町村に確認されたい。

医療施設等(病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等)に係る避難確保計画作成の手引き(案)(洪水・内水・高潮編)  
 【国土交通省】

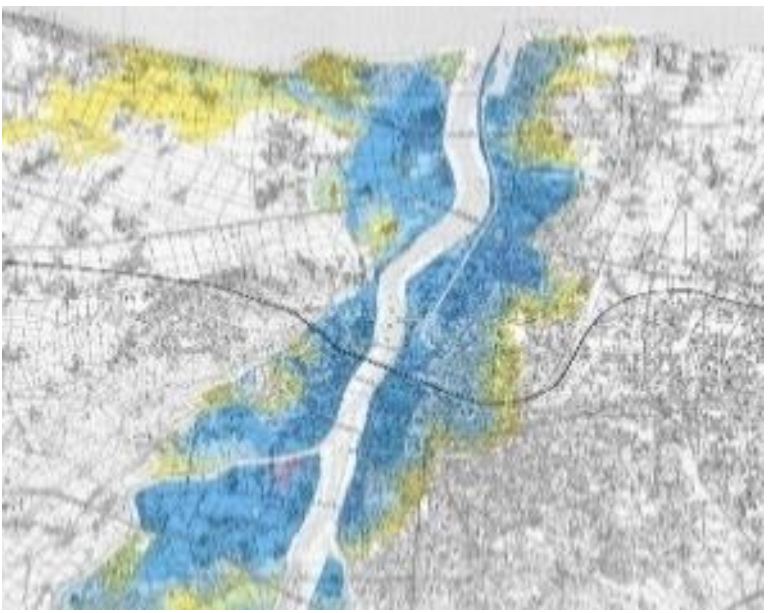


■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

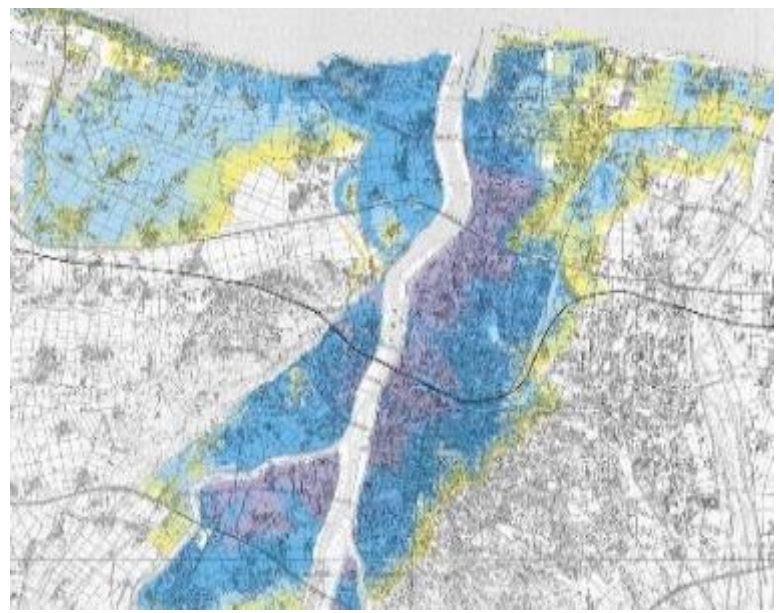
課題対応: **D**

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表  
【平成28年度: 留萌開発建設部】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知  
【平成29年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知  
【平成29年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町】

○ 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表



河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D F I

- 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施  
【平成28年度から順次実施:留萌開発建設部、地方气象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】
- 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施  
【平成29年度から実施:留萌開発建設部、地方气象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】
- 防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実  
【引き続き実施:留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】



防災教育の実施状況

天塩町洪水ハザードマップ



留萌市広報誌による水防意識の啓発(2008)

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**

○ 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応: **J K N**

○ 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】



2015. 10. 26 問寒別川問寒別地区 共同点検



2015. 07. 23 関係機関との水防技術講習会



2015. 07. 23 関係機関との水防技術講習会

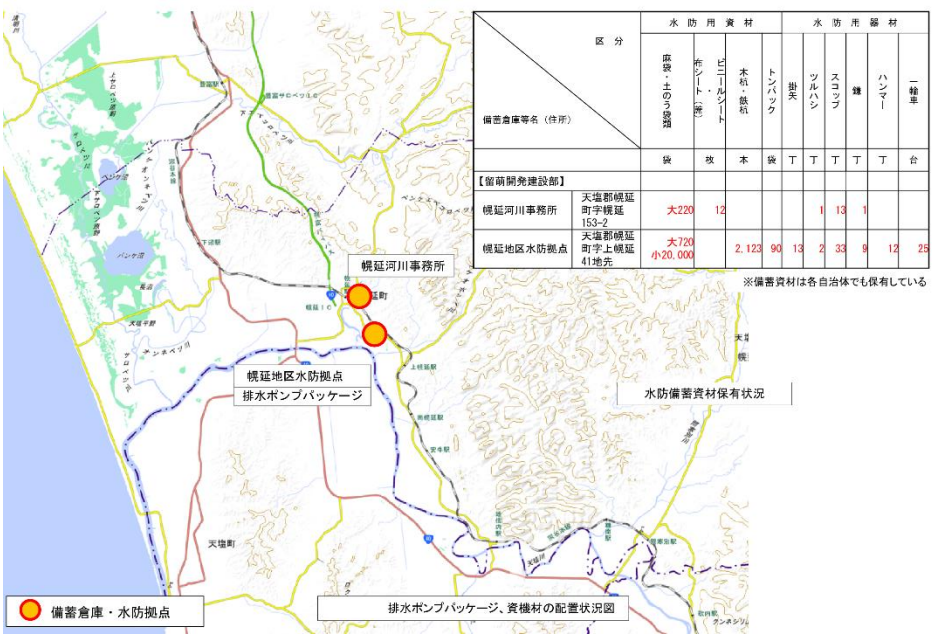
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **M**

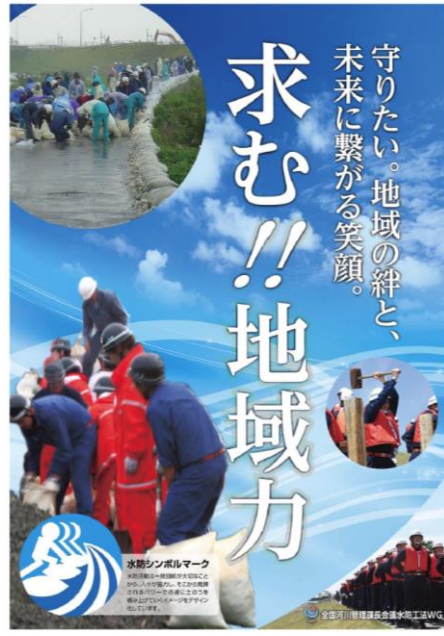
○ 迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る  
 【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応: **N**

○ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る  
 【平成28年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町】



水防資機材の保有状況



ポスター掲示による水防団員の募集

### 水防団員を募集しています。

あなたも水防(消防)団に参加して、自らの手で家族・財産・地域を守りませんか。

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため、貴重な役割を果たすのが水防(消防)団です。しかしながら現在、水防団員数は減少しており、高齢化も進むなど、水防活動の充実を図るためには是非とも皆様のご協力が必要です。水防は国民一人ひとりの力をあわせてこそ成り立つものなのです。このため、多くの方の入団をお待ちしています。特に若い方が必要とし、男性だけでなく、女性の入団も大歓迎です。

水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有してあり、市町村で半日勤務が基本です。詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。

多くの市町村では、消防団が水防団を兼ねています。

地域を守る水防(消防)団を応援します!!

消防団・水防団活動事業補助金  
 消防団・水防団活動事業補助金は、消防団・水防団活動の推進を図るための補助金として、市町村の財政負担を軽減し、活動の活性化を図ります。

消防団員、水防団員  
 消防団員、水防団員  
 消防団員、水防団員

水防に関する紹介ビデオがご覧いただけます。 <http://www.cbr.mhl.go.jp/kawatomizu/>

## ■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応:

G

O

P

- 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成  
【平28年度から順次実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】
- 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認  
※平成28年度に排水ポンプ車配備予定  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

災害出動要請に係る関係機関との調整に関する  
体制を確認(共同訓練)



想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成

既設排水系統について情報共有の上、関係機関が保有する  
排水ポンプの的確な設置場所や搬入ルート等について事前に  
計画



# 7. フォローアップ

今後、津波・洪水に関する一体となった浸水想定周知方法や広域に分散する酪農施設の避難に関する取組方針を踏まえて、取組方針の見直しを実施する。

各関係機関の取組については、必要に応じて防災業務計画や地域防災計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

原則、部会を毎年出水期前に開催し、取組の状況を確認し必要に応じて取組方針を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行うこととする。

なお、今後全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集したうえで、随時取組方針を見直すこととする。

フォローアップ調査表参考例

大項目	中項目	小項目	取組主体	進捗達成度					その他 (実施にあたっての問題点・要望等)
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組み	情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき避難経路・途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映							
			〇〇	〇〇	〇〇				
			〇〇	〇〇	〇〇				

平成28年度以降の「気象シナリオ」イメージ  
(地方気象台提供資料)



防災情報提供システム

横浜地方気象台提供：横浜市の防災情報

神奈川県の防災情報

表示状態保存

隣接市町村 横浜市

マイページへ

ホーム

気象警報・注意報など

地震・津波・火山

天気予報など

気象監視

大雨

洪水

高潮

強風

波浪

雷

## 気象シナリオ

警報・注意報 平成26年10月5日18時27分 横浜地方気象台発表  
 定時防災予報 平成26年10月5日17時00分 横浜地方気象台発表

種別	今後の推移											
	5日(今日)		6日(明日)					7日	8日	9日	10日	
	18~	21~	00~	03~	06~	09~	12~	15~	18~	21~		
大雨	神奈川県東部の警報級の可能性	高		高					-	-	-	-
	1時間雨量(mm)	30	40	40	70	70	50					
	(浸水害)											
	(土砂災害)											
洪水	(洪水害)											
強風	神奈川県東部の警報級の可能性	中		高					中	-	-	-
	風向	陸上	16	16	20	20	28	28	22	22	20	以後も続く
	風速(m/s)	海上	18	18	22	22	30	30	24	24	22	以後も続く
波浪	神奈川県東部の警報級の可能性	高		高					中	-	-	-
	波高(m)	2.0	2.0	2.0	3.0	4.0	4.0	3.0	3.0	2.5	以後も続く	
高潮	潮位(m)				1.5	1.5	1.5	1.5			ピークは6日3時頃	
雷	(危険度)										以後も続く	

神奈川県の注意警戒事項  
 神奈川県では、6日昼前まで土砂災害や河川の増水に警戒してください。

## 発表中の主な防災気象情報

10月5日17時40分 台風第18号に関する神奈川県気象情報 第5号

10月5日16時55分 台風第18号に関する関東甲信地方気象情報 第4号

## 予報官コメント

10月5日 17時

### <防災気象情報発表の見通し>

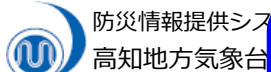
大型で強い台風第18号は、6日朝から昼前に関東甲信地方に最も接近し、上陸するおそれがあります。神奈川県では、台風が接近する6日明け方から雨・風・波が急激に強まる見込みです。大雨や暴風、高波に厳重な警戒をしてください。また、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。発達した積乱雲の近づく兆しのある場合は、建物内に移動するなど安全確保に努めてください。

## 「気象シナリオ」の提供

- 雨量等や危険度の推移をわかりやすく色分けをした時系列で表示する。
- 5日先までの警報級の可能性を時系列で一体的に表示する。

今後の危険度の推移や可能性を一目で把握できるようになる。





夜間から早朝に、  
確度が「高い」とはいえない  
までも、「警報級の可能性」が  
認められることを把握できる。

「警報級の可能性」が  
高い期間が数日先にまで  
近づきつつある状況が  
把握できる。

ホーム

**波浪** **雷**

**気象シナリオ**

警報・注意報 平成26年 8月6日 16時55分 高知地方気象台発表  
定時防災予報 平成26年 8月6日 17時00分 高知地方気象台発表

種別	今後の推移															
	6日(今日)					7日(明日)					8日	9日	10日			
	15~	18~	21~	00~	03~	06~	09~	12~	15~	18~						
雨	高知県中部の 警報級の可能性	-	中			-					中	高	高	-		
	高知県中部の 1時間雨量(mm)	30	40	70		20		30								
風	高知県中部の 警報級の可能性	-	-					-					高	高	-	
	高知県中部の 風速(m/s) 陸上	6	4	4		6		6								
	高知県中部の 風速(m/s) 海上	8	8	8		8		8								
波浪	高知県中部の 警報級の可能性	-	-					-					中	高	高	-
	波高(m)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	以後も続く				
雷	(危険度)															

高知県の注意警戒事項  
中部では、土砂災害に注意してください。高知県では、高波や落雷に注意してください。

**発表中の主な防災気象情報**

8月6日17時40分 四国沖南部 地方海上警報

8月6日16時56分 大雨に関する高知県気象情報 第20号

8月6日 17時

<防災気象情報発表の見通し>  
高知県では、降り始めからの雨量が130.0ミリを超えており、中部や東部

**「気象シナリオ」の提供**  
警報・注意報を発表していない現象  
についても、  
「雨量等の予想値」の時系列や  
5日先までの「警報級の可能性」を  
明示。

「72時間先までの見通し」  
などが把握できる。  
市町村など防災関係機関における  
早め早めの体制・対応の判断に  
活用していただきたい。